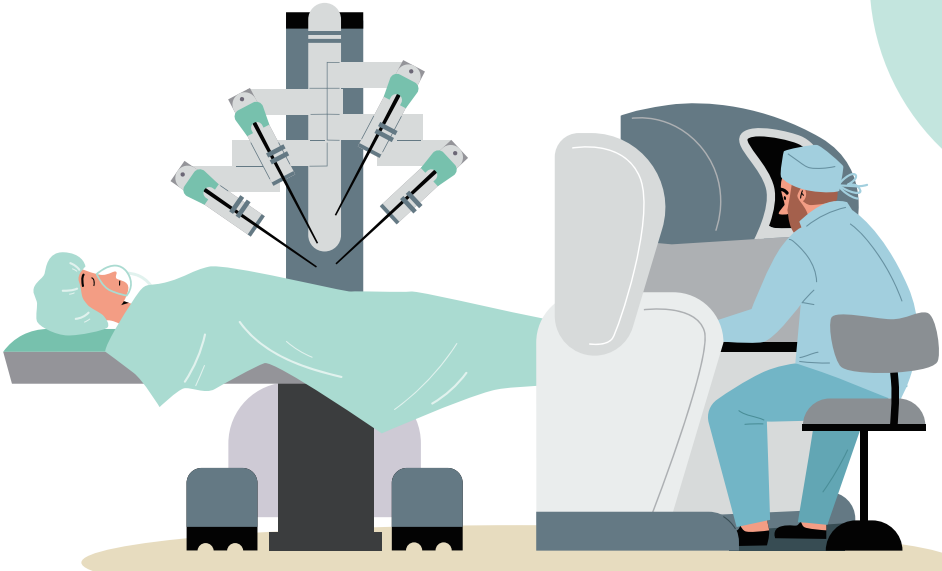
済生会川口総合病院　広報誌

済生かわぐち vol. 267

ご自由にお持ちください

ロボット支援手術



特集

ロボット支援手術

川口総合病院でのあゆみ



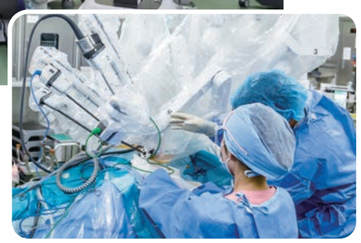
ロボット支援手術は、消化器外科領域などにおいて広く普及しつつあり、質の高い医療の一つとして欠かせないものとなっています。

新たな術式の導入にあたり、医療経済的な課題を抱えながらも、「地域の患者さんへ新たな治療の選択肢を届けたい」という願いから、当院でも2019年より手術支援ロボット「Da Vinci」を導入していました。

消化器外科部門では、2022年5月に直腸がん、同年6月には胃がんに適応を拡大し、その後約4年にわたって症例を積み重ね、技術と経験を着実に磨いてきました。そしてこのたび、結腸がんにも適応を拡げ、消化器外科全体として、より多くの低侵襲手術を提供できる環境が整いました。当院は昨年度、泌尿器科154例、外科60例と、年間計214例のロボット支援手術を実施することができました。

また、ロボット支援手術を希望される患者さんに一定期間お待ちいただいていた状況を改善し、医療需要に応えるべく、2026年9月28日より、新機種「Da Vinci Xi」を川口市内初の2台体制とし、運用を開始しました。当院ではこれからも、多職種と連携したチーム医療によって、より安全かつ高度な手術を目指してまいります。





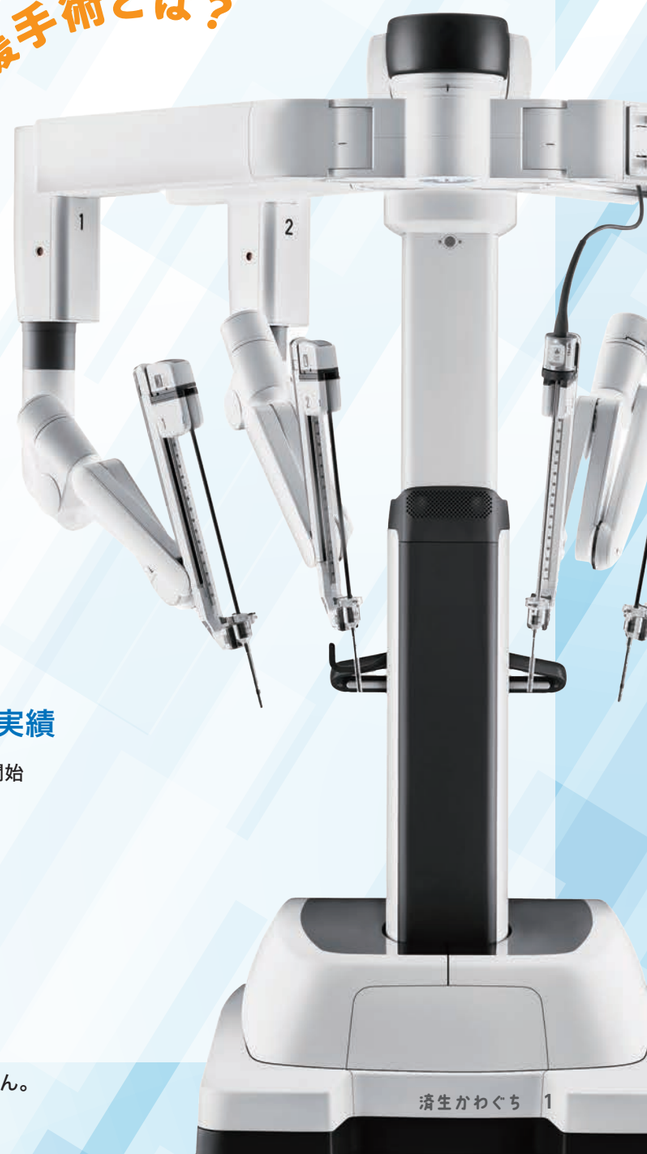
※がんの治療は、病期や患者さんの状態によって治療方法が異なります。

「ロボット手術」と聞くと、ロボットが自動で手術を行うイメージを持たれる方もいらっしゃるかもしれません。ですが、「ロボット支援手術」では、ロボットが自ら判断して動くことはありません。執刀医がロボットの専用操縦席に座り、3Dの立体的な手術画像を見ながら操作を行うのが「ロボット支援手術」です。ここでのロボットは、医師の手の動きを、より細かく精密な動きに変換する役割を果たしてくれています。

手術の手技をロボットを経由して行うことのメリットの一つとして、視界や手元の補正が効き、鮮明な画像をもとに、人の手首より大きな可動域をもつ器具を用いて手術が行えることが挙げられます。ロボット支援手術における ロボットは、人間の手指では難しい作業をサポートする役目を担っているのです。

病院 HPもご覧ください。
▼

ロボット支援手術とは？



◎手術の様子



執刀者には、高画質で立体的な 3D ハイビジョンシステムの画像が見えています。

◎当院におけるロボット支援手術導入実績

2019 年	川口市内で初導入、前立腺がん手術開始 その後膀胱がん、腎がん、尿管がん、腎盂形成に適用
2022 年	5 月直腸がん手術開始 6 月胃がん手術開始
2025 年度	年間 200 例を達成
2026 年	**6 月結腸がん手術開始** **9 月 DaVinciXi 2 台体制へ**

すべての方にロボット支援手術が適しているわけではありません。

ロボット支援手術
担当医より地域の皆様へ



泌尿器科主任部長
橋本恭伸

当院では 2019 年にロボット支援手術を導入し、7 年にわたり経験を積み重ねてきました。ロボット支援手術により、より精緻な前立腺摘除術が可能となる一方、前立腺がんの治療では、患者さんの年齢や併存疾患、仕事や介護などの社会的背景も含めて、治療方法を総合的に検討することが大切です。ロボット支援手術も、患者さんにとっての治療選択肢の一つです。患者さんの状態や生活背景を踏まえ、総合的に治療方法を検討していくことが重要だと考えています。これまで積み重ねてきた経験を生かしながら、川口市、埼玉県南部の地域医療に貢献できるよう、これからもチーム一丸となって取り組んでまいります。



外科部長
根上直樹

2022 年 5 月より、直腸がん、そして 2026 年 6 月より結腸がんに対するロボット支援手術を担当させていただいております。
私たちは、腹腔鏡下手術を導入してから約 20 年にわたり、スタッフとともに低侵襲手術の研鑽（けんさん）を積み重ねてまいりました。
おひとりおひとりの患者さんを大切に、チームで検討を重ねて、手術に臨んでおります。
当院外科には、日本内視鏡外科学会技術認定取得者が 4 名、ロボット支援手術認定プロクターも 3 名常勤として在籍しております。この恵まれた体制を充分に生かし、より多くの地域の患者さんが、安心して新しい医療を受けることができるように、引き続き精進してまいります。



外科部長
岡田治彦

2022 年 6 月より胃がんに対するロボット支援手術を導入し、「より体の負担が少なく」「より精密な」手術を進めてきました。がんを取り除くことは大前提として、胃を切ったあとの生活も大切に考えておりますので、なるべく「機能を残すこと」「食べられること」を重要視して治療に当たっています。
2023 年 4 月より日本胃癌学会認定施設として、また近年のご高齢の方の比率増加にも向き合い、お一人お一人に寄り添ったチーム医療を心掛けています。お気軽にご相談ください。
2026 年 8 月からは鼠径ヘルニアに対するロボット手術も行なっています。



外科部長
山田秀久

「がんの手術と言われて不安」「できるだけお腹を大きく切りたくない」「早く仕事や家事に復帰したい」といったご希望や不安に、最新の医療技術でお応えします。
遠くの高度医療機関まで足を運ばなくても、住み慣れたこの地域で最先端の安全な治療を受けていただけるよう、私たちスタッフが全力でサポートいたします。大腸の病気や検査について気になることがございましたら、どうぞお気軽に当院の外科外来へご相談ください。



病院を支える人たち

人を通じて組織を支える

人事・総務課
本橋和宏

病院 HP にて
くわしく公開中
▼

課内での担当業務はどんな内容？

採用の仕事、人事の仕事、教育・研修の仕事の3つを中心的に行っています。一日の業務では説明会対応や採用試験に関することが多いのですが、職員に向けた研修を行ったり、総務業務として職員からの申請の受付、安全運転管理者としての啓発など、幅広く行っています。

病院で働いて驚いたことは？

転職してくるまでは、病院には患者としてしか来たことがなかったので、事務職や設備保守職など、病院組織を力強く支えている人がこんなにもたくさんいることに驚きました。

やりがいを感じる瞬間はありますか？



人事の仕事で言うと、病院はさまざまな職種が働いている場であるからこそ、「人は財産」だと思っています。各現場の需要に応じて職員をタイムリーに採用することが大事だと思っているので、それができたときにはやりがいを感じます。

仕事をするうえで大切な姿勢とは。



まずはフットワークが軽いことですね。机の上で考えることももちろん大事ですが、考えたうえで、動くこと。やってみてダメだったときも、失敗ではなく「ダメだった」ということが分かる成果、うまくいけば「こうすればうまくいくから、次の参考にしよう」という学びがそれぞれ得られるので、【具体的に動くと具体的な答えが出る】と思っています。また、「自分が取り組んでいる仕事は、誰のために・何のために行っているのか」を常に意識することも大切にしています。

今後の展望について教えてください。

事務職員として、病院組織がうまく回るための「潤滑油」になることが目標です。
これからも、「済生会川口総合病院があって良かった！」と思っていただけるように、医療を通じた地域・社会への貢献のため「できることを・できるときに」をモットーに日々実践していきます。

医療連携登録医のご紹介

あなたの町のホームドクター

地域と地域医療機関の皆さまとの架け橋となり、
地域の人が集える病院をめざします。

地域完結型医療



済生会川口総合病院は、地域の急性期を担う中核病院として、地域の皆さんが安心して暮らせるように、各医療施設をはじめとする施設・機関とよりよい連携を図りながら、安心・安全で質の高い医療が提供できる地域完結型の医療をめざしています。

連携医療機関検索サービス
スマホで検索できます ▶

川口芝クリニック

内科　精神科

当院は、一般内科の診療に加え、精神疾患、難病、認知症などへの対応も行う、訪問診療中心のクリニックです。訪問診療専門クリニックでの院長職、外科や救急総合診療科での勤務経験などを生かし、この地域で、患者様やご家族様に満足していただけるような診療を行っていきたいと考えております。難病指定医の資格がありますので、パーキンソン病などの難病患者様の訪問診療も積極的に受け入れております。また、緩和ケアの経験もあるため、ターミナル患者様の訪問診療も行っています。その他、褥瘡処置、外傷処置、熱傷処置などの外科的処置についてもスピーディーに対応いたします。今後とも皆様が住み慣れた場所で生活を続けるために、全力でサポートできるよう努力してまいります。







きだ　よしとし
木田　吉俊 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
9:00~18:00	−	○	○	○	○	−	−	−

● 休診日：土曜、日曜、祝日、
年末年始（12/30~1/3）

住 所：埼玉県川口市芝4丁目6-6
TEL：048-424-3750

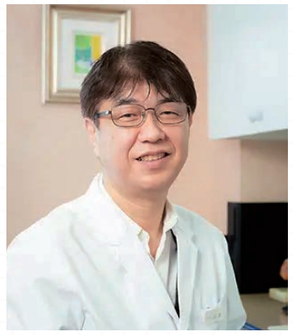
わらび錦町内科

内科　循環器内科

これまで大学病院や総合病院で主に循環器領域で研鑽を積んできて、この度ご縁をいただき、わらび錦町内科の院長に就任しました。当クリニックは内科一般の診療を行い、中でも高血圧症や糖尿病、脂質異常症などの生活習慣病の治療に力を注いでいます。また、これらの生活習慣病が要因となる、狭心症、脳梗塞、心筋梗塞、腎不全にも、専門性を生かして対応し、患者それぞれに合った治療や薬の処方に努めています。埼玉県は私の故郷でもあり、医師としてこの地域の皆様の健康に貢献できることを嬉しく思います。蕨市、戸田市、川口市、さいたま市などにお住まいの方のかかりつけ医としてご信頼いただけるように、スタッフ一同努力して参りますので、これからどうぞよろしくお願いします。







やまもと　しん
山本　真 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:30	○	−	○	○	○	○	−	−
午後 15:00~18:00	○	−	○	○	○	○	−	−

● 休診日：火曜、日曜、祝日
● 受付は午前12:15 / 午後17:45まで
（新患はそれぞれ11:30 / 17:00まで）

住 所：埼玉県蕨市錦町5-3-28
蕨クリニックタウン102
TEL：048-447-6222

かわぐち胃腸と内視鏡クリニック

消化器内科　胃腸内科　内科　外科

2024年6月より、川口駅前の胃腸科、内視鏡診断、外科肛門外科対応クリニックとして開院いたしました。外科医として医師を歩み始めて以来、前任の済生会川口総合病院では専門分野である大腸肛門疾患の手術、腹部一般外科手術や検査の研鑽をし、16年間を過ごしてまいりました。医師人生の2/3を過ごしてきた川口の地で、今後は内視鏡を中心とした検診・ポリープやがんの早期発見と治療を通して、地域の皆様のお役に立てればと考えております。私は2026年8月現在も週に1回済生会川口病院で非常勤として勤務し、手術および内視鏡検査を手伝っております。また、済生会外科の先生方にも当院で内視鏡検査を行っていただいており、強いパートナーシップで診療をしています。皆様のお力添えをいただきながら来院しやすく、居心地のよい場所を提供できるよう目指してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。







やまだ　まさき
山田　正樹 先生

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:00	○	○	−	○	○	○	★	−
午後 13:30~18:00	○	○	−	○	○	△	−	−

● 休診日：水曜、日曜、祝祭日
● 第一・第三土曜日は完全予約制（検査のみ）
● 第2日曜日は完全予約制で検査のみ実施
（日曜日祝日、翌月曜日が祝祭日の場合は変更あり）

住 所：埼玉県川口市栄町3-1-14
川口三栄ビル6階
TEL：048-271-9722

当院では、患者さんにより良い医療を提供するため、地域の医療機関の先生方（かかりつけ医）と連携、役割分担をおこなっています。

【病院長コラム】



病院長
佐藤 雅彦

高齢化、少子化が進み、日本の今後の人口構造の変化は大きく、生産年齢人口が減る中で、医療従事者をどのように確保していくのか、そして医療提供体制をどのようにしていくのか、ということは大きな日本の課題です。2040年を見据えた効率のよい医療提供体制を構築するために、地域医療構想がとりまとめられました。

日本は国民皆保険制度があり、自由に医療機関を受診でき、また病院機能を担っているのは私立の病院が多くを占めているなど、よいことも多くありますが、世界の中でも類を見ない特殊な状況にあります。

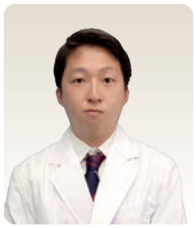
全国には人口が激減し、既存の医療提供体制では到底成り立たなくなり、地域の医療機関が自主的に様々な工夫をしている地域もあります。埼玉県は西部・北部を除くと人口減少はあまり進まず、今までの医療提供体制で継続できるとはいえ、医療機関が協力して効率のよい医療の提供のために、様々なことを行うことは必要と考えます。

【インフォメーション】

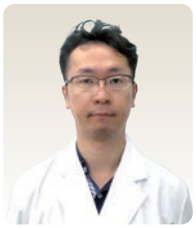
■新任医師のご紹介



消化器内科
津川 直輝



呼吸器内科
賀来 徳倫



呼吸器内科
藤岡 雅大



呼吸器内科
黄 潔



外科
穂坂 大誠



呼吸器外科
前屋舗 龍男



耳鼻咽喉科
窪田 栄吉



整形外科
河村 知紀



脳神経外科
浅霧 巴南



泌尿器科
菊池 華代

詳しくは当院ホームページでご確認ください。

病院 HP ▶ 済生会川口

病院 Instagram ▶ Instagram

病院 LINE ▶ LINE

病院の理念

患者さんを中心とした
質の高い医療の提供により
地域・社会に貢献します

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
埼玉県済生会川口総合病院
〒332-8558　埼玉県川口市西川口5-11-5　● tel 0570-08-1551（代）　● HP https://www.saiseikai.gr.jp/
済生かわぐち　第267号　2026年10月25日発行　● 発行人：病院長　佐藤 雅彦　● 編　集：事務部長室